

卒業生講演会兼 SSH 講演会

9月7日（月）、皇學館大学記念講堂において「卒業生講演会兼 SSH 講演会」を開催しました。今年度は本校9期卒業生の松林信幸様をお招きし、**「アフリカでの10年 ～子どものウェルビーイング～」**と題してご講演いただきました。現在、町立南伊勢病院の小児科医師として地域医療に貢献されている松林様は、過去にアフリカで計3回・約10年間にわたり保健医療協力に尽力された大先輩です。

講演では、高校・大学時代を経て医師を志した経緯について、ご自身の経験をもとにお話しいただきました。またアフリカでの活動として、ザンビアでのウイルス検査室の立ち上げや新生児病棟の運営、タンザニアでの母子保健活動、エチオピア連邦共和国アムハラ州での感染症サーベイランス体制の構築などについて、現地で撮影した写真や動画を交えながら分かりやすくご紹介いただきました。

医療分野にとどまらず、「世界で様々な経験を積み、それをどう活かしていくか」という力強いメッセージは、生徒たちにとって自身のキャリアや世界観を広げる貴重な学びとなりました。本講演をきっかけに、将来世界を舞台に活躍したいと志す生徒が増えることを期待しております。

ご多忙の中、素晴らしいご講演をいただいた松林信幸様に心より感謝申し上げます。

